

入 試 要 項

桐朋学園大学音楽学部

ディプロマ・コース

2 0 2 3



目 次

ページ

楽器略語・コード表	2
ディプロマ・コースについて	3
ソリスト・ディプロマ・コース 募集要項	5
ソリスト・ディプロマ・コース 入学試験課題	8
カレッジ・ディプロマ・コース 募集要項	10
カレッジ・ディプロマ・コース 対面入試課題	14
カレッジ・ディプロマ・コース オンライン入試課題	21
カレッジ・ディプロマ・コース オンライン入試受験上の注意	28
ディプロマ・コース 出願書類等	29
ディプロマ・コース 出願書類記入上の諸注意	30
カレッジ・ディプロマ・コース履修科目等	31
在籍者の履修継続(再登録)手続について	34
特待生制度・奨学金制度および学生会館	36
交通機関案内図	37

新規受験者用

<ホームページからダウンロードする書類等>

- ・ディプロマ・コース志願票・受験曲目票
- ・伴奏譜提出票
- ・同意書(カレッジ・ディプロマ・コース オンライン入学試験のみ)
- ・桐朋学園音楽部門奨学金申請書(ソリスト・ディプロマ・コース入学試験のみ)
- ・桐朋学園音楽部門学生会館入居願(希望者のみ)
- ・受験証
- ・出願書類送付先票(貼付用)

<用意するもの>

- ・レターパック(ダウンロードした出願書類送付先票を、宛先欄に貼付する。)
- ・受験証返送用封筒(長3封筒に354円分の切手を貼付し出願書類に同封する。)
- ※志願者本人が受け取る住所を記入し、志願者名を「様」書きにて記入する。封筒右下に「専攻」を記入する。
- ・写真2枚(背景なし、正面上半身脱帽、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、裏面に氏名を記入)

継続手続者用

<事務局入試係から郵送される書類等>

- ・ディプロマ・コース志願票 履修継続(再登録)用
- ・受験証
- ・出願用封筒

<出願時の注意>※必ずお読みください。

新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止において、政府見解や社会情勢を考慮し、今後、記載事項に関して変更させていただく可能性があります。

変更が生じた場合、本学ホームページにより周知いたします。

出願前や受験前にはご確認ください。

いずれのコースも出願には以下の①②③の手続きが必要となります。

- ① WEB出願申請
- ② 入学検定料支払
- ③ レターパックでの出願書類提出

楽器略語・コード表

*印はソリスト・ディプロマ・コースの専攻

専攻		楽器略語	コード
ピアノ *		P f	0 1
弦 楽 器	ヴァイオリン *	V l	1 1
	ヴィオラ	V a	1 2
	チェロ *	V c	1 3
	コントラバス	C b	1 4
管 楽 器	ピッコロ	Picc.	2 6
	フルート *	F l	2 1
	オーボエ	O b	2 2
	クラリネット	C l	2 3
	バスクラリネット	B. C l	2 7
	ファゴット	F g	2 4
	サクソフォン	S x	2 5
	トランペット	T p	3 1
	テノール・トロンボーン	T T	3 2
	バス・トロンボーン	B T	3 3
	ユーフォニウム	E u	3 4
	チューバ	T u	3 5
	ホルン	H r	3 6
打 楽 器	パーカッション	P c	4 1
	マリンバ	M a	4 2
ハ ー プ		H p	5 1
古 楽 器	リコーダー	R e	6 1
	フラウト・トラヴェルソ	F T	6 2
	バロック・オーボエ	B O	6 3
	ヴィオラ・ダ・ガンバ	V G	6 4
	チェンバロ	C e	6 5
	バロック・ヴァイオリン	B V	6 6
	バロック・チェロ	B C	6 7
声 楽	女声	V f	7 1
	男声	V m	7 2
作 曲		C o	8 1
指 揮		C d	8 3
音 楽 学		M u	9 1

ディプロマ・コースについて

桐朋学園大学音楽学部の附属コースには、大学設置基準第31条に定められる「科目等履修生」の一種として、以下のコースがある。

コース名 (受験資格)	募集専攻	コースの特色
ソリスト・ディプロマ (中学校卒業以上)	ピアノ ヴァイオリン チェロ フルート	ソリストとして将来性を有すると認められた者を対象に高度な実技教育を行うことを目的としたコース。
カレッジ・ディプロマ (高等学校卒業以上)	大学に設置されている全専攻	実技を中心とした教育を受ける場として、様々な学生を受け入れることを前提として設置されたコース。18歳～50歳以上まで幅広い年齢の学生が在籍している。
研究生 (大学音楽学部卒業以上)	管楽器・打楽器 ・ハープ・古楽器 ・指揮	大学卒業後、引き続き専攻実技の研究を深めた者のためのコース。(大学院にコースを設置しているピアノ・弦楽器・声楽・作曲・音楽学については、新たな募集をしていない。)
科目等履修生 (高等学校卒業以上)	専攻実技の 受講は不可	大学で開講されている授業科目の単位修得を目的として設置されたコース。1科目から受講可能。

本学は「ソリスト」「カレッジ」の2つのディプロマ・コースを設置している。

ディプロマ・コースは、規定の年限在籍し、科目を修得した場合は、「コース修了証」が授与される。これは、本学独自の修了認定で、大学を卒業した時に与えられる「学位(学士)」とは異なる。

ソリスト・ディプロマ・コース(SD)

ソリストとしての将来性を有すると認められた者を対象に高度な実技教育を行うことを目的としているコースで1973年に開設された。

近年の在籍者数

	2022年度	2021年度	2020年度
ピアノ専攻	7	6	6
ヴァイオリン専攻	2	3	5
チェロ専攻	4	3	5
フルート専攻	0	0	0

このコースの必修科目は、専攻実技のほか、音楽理論・音楽史・ソルフェージュの3科目である。在籍している学生の中には、普通科の高校や一般の大学へ通いながら「ダブル・スクール」を実践している学生や、演奏活動と両立させている学生がいる。

このコースを修了するためには通算3年以上在籍し、必修科目の単位を修得、修了試験に合格する必要がある。また、入学試験または所定の学内試験における専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた者には「登録料」や「受講料」等の全額または一部が免除される「特待生制度」もある。

過去3年のソリスト・ディプロマ・コース入試結果

	2022年度		2021年度		2020年度	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
ピアノ専攻	2	2	1	0	4	3
ヴァイオリン専攻	2	1	3	1	1	1
チェロ専攻	3	2	0	0	2	2
フルート専攻	0	0	0	0	0	0

カレッジ・ディプロマ・コース(CD)

実技を中心に教育を行うことを目的とし、大学進学に代わる場として、海外留学のための準備の場として、大学卒業後の更なる研鑽の場として、あるいは他大学に学びながら専門教育を受ける場としてなど、様々な志向に応えるべく1996年に設置された。

近年の在籍者数

	2022年度	2021年度	2020年度
ピアノ	12	14	11
弦楽器	26	23	27
管楽器	6	3	3
打楽器	0	0	0
ハープ	0	0	0
古楽器	3	3	2
声楽	9	6	8
作曲	4	1	1
指揮	1	0	0
音楽学	1	0	0

このコースの「修了証」を取得するためには、通算3年以上在籍する必要がある。「年次修了」の通知を2回取得した者に、コース修了試験の受験資格が与えられる。「年次修了」するためには、専攻実技のほか、大学で開講されている「専門科目」を3科目以上履修することが必要である。在籍している学生は年齢層も幅広く、それぞれの目的に合わせて学んでいる。

過去3年のカレッジ・ディプロマ・コース入試結果

	2022年度		2021年度		2020年度	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
ピアノ	7	7	7	7	6	6
弦楽器	20	20	10	10	7	7
管楽器	3	3	1	1	2	2
打楽器	0	0	0	0	1	0
ハープ	0	0	0	0	0	0
古楽器	1	1	2	1	1	1
声楽	7	6	1	1	2	2
作曲	3	3	1	1	1	1
指揮	1	1	0	0	0	0
音楽学	1	1	0	0	0	0

- * 桐朋学園大学音楽学部、桐朋女子高等学校音楽科との同時在籍はできない。
ただし、桐朋学園大学音楽学部研究生との同時在籍は可能。
- * ディプロマ・コース生は「科目等履修生」にあたるため、学割証や通学証明書は交付されない。

ソリスト・ディプロマ・コース(SD)募集要項 **対面入試**

募集専攻：ピアノ専攻、ヴァイオリン専攻、チェロ専攻、フルート専攻

募集人員：各専攻 若干名

受験資格：中学校卒業以上の者(2023年3月中学校卒業見込みの者を含む)

選考試験科目：専攻実技のみ(試験課題はP.8～P.9参照)

出願手続：

1)受付期間 **2022年11月14日(月)～11月25日(金)【郵送に限る。11月25日必着】**

①WEB出願申請期間	2022年11月14日(月)9時～11月25日(金)23時59分
②入学検定料納入期間	2022年11月14日(月)9時～11月25日(金)23時59分
③出願書類郵送期間	2022年11月14日(月)～11月25日(金)<郵送必着>

※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定を行うこと。

※上記期間中に①WEB出願申請「WEB志願票」を入力送信、②入学検定料を納入し、あわせて後掲の③出願書類をレターパックにて郵送する。

インターネットでの①WEBによる出願申請だけでは出願完了とならない。必ず、期間内に②入学検定料を納入し、出願書類郵送期間内に③出願書類をレターパックにて送付すること。出願書類郵送期間内に本学に到着した時点で出願完了となる。

※ソリスト・ディプロマ・コースは対面入試のみ実施する。オンライン入試は実施しない。

2)出願方法

STEP 1

以下のURLより「WEB出願申請準備」を行う。(10月1日から公開)

<2023年度 桐朋学園大学音楽学部ディプロマ・コース入試 WEB出願申請準備>

URL : <https://www.secure-cloud.jp/sf/16014849171xCLvHZD>

→ 受付完了メール受信

※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定を行うこと。



※受付完了メールは利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合があるので確認すること。

STEP 2

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の「出願書類」を確認(10月1日から公開)

→ 必要書類をダウンロード印刷・記入 → レターパックにて郵送

STEP 3

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の「WEBフォーム」より「WEB志願票」を入力・送信 → 受付完了メール受信

STEP 4

後掲の3)入学検定料納入方法により、出願期間内に振り込み手続きを行う。

→ 出願完了

3) 入学検定料納入方法

前掲のSTEP3 WEB志願票を入力送信後、出願期間内に振り込み手続きを行うこと。

<p>入学検定料 55,000円</p> <p><振込先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みずほ銀行調布支店 当座No. 9778 ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座No. 49612 ・三井住友銀行国領支店 当座No. 1015159 <p><振込先口座名義> 学校法人桐朋学園音楽科 [ガク)トウホウガクエンオンガクカ]</p> <p><注意事項></p> <p>※納入された入学検定料は返還しない。</p> <p>※振込みの際は、 振込人名義を「<u>受験者名</u>」とし、名前の前に「<u>2023</u>」と加えること。 (例：2023 トウホウ タロウ)</p>

試験日程：

伴奏合わせ	12月20日(火)	伴奏合わせ・試験当日の集合時間については、12月10日(土)までに本人宛にメールまたは封書で通知する。届かない場合は、事務局入試係へ問い合わせること。
試験	<p>ピアノ 12月20日(火)</p> <p>弦楽器・フルート 12月21日(水)</p> <p>※ いずれも「仙川キャンパス」で実施する。</p>	
問い合わせ先	事務局入試係 電話：03-3307-4122(仙川) 9:00～16:00	

- 注1) 伴奏者は、本学で準備する。伴奏譜を志願票とともに提出する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように屏風綴じにするなどの配慮のうえ提出すること。レターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。
- 注2) 出願後に受験を取りやめる場合は、事前に本学へ電話連絡すること。

合格発表：日時……………12月22日(木) 11時予定

方法……………本学ホームページに掲載する。また、志願票に記載された宛先に入学
 手続書類を郵送する。

入学手続：1) 手続期間……………2023年1月13日(金)～27日(金) [郵送必着]

2) 校納金(2022年度実績)

登録料		450,000円*
受講料	前期	450,000円*
	後期	450,000円
施設設備費	前期	50,000円*
	後期	50,000円
別納受講料	選択副科(声楽以外)	80,000円〈希望者のみ。年額〉
	選択副科(声楽)	55,000円〈希望者のみ。年額〉
	室内楽・二重奏ソナタ	45,000円〈希望者のみ。年額〉

注1) *印のついた校納金〔950,000円〕を入学手続時に納める。

注2) 経済情勢の変動等に応じて2023年度以降の校納金については改定があり得る。

3) 提出書類等

- ①「入学手続納付金払込用紙」の副票
 - ②誓約書 (本学指定用紙)
 - ③身元保証書 (本学指定用紙)
 - ④学籍台帳 (本学指定用紙)
 - ⑤写真 (背景なし、正面上半身脱帽、3カ月以内に撮影したもの、
タテ4cm×ヨコ3cm)
 - ⑥住民票または住民票記載事項証明書1通(マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要) 他
- ※詳細は入学手続書類の発送時に「合格者心得」で通知する。

在籍年限: 通算7年まで。

在籍登録は1年ごととし、履修継続(再登録)希望者は毎年度所定の手続きをしなければならない(P.34参照)。

履修科目等: 必修科目 ・専攻実技

・ソルフェージュ [BCクラス修了まで]*

・音楽理論(和声実習) [3年間]*

・音楽史 [2科目以上合計8単位]

[*桐朋女子高等学校音楽科の卒業生は一部免除される]

選択科目 ・オーケストラ、合奏(アンサンブル)(弦楽器・管楽器の各専攻)

・大学で開講されている科目(当該科目の担当教員が認めた場合)

・選択副科 (受講料別納)

・室内楽・二重奏ソナタ (受講料別納)

その他 大学の各種オーディションを受けることができる。

修了: 通算3年以上在籍し、修了試験(リサイタル/公開)に合格した場合に修了とする。不合格の場合は、在籍年限の範囲内で、次年度以降に再度登録のうえで受験できる。修了試験受験資格および修了試験については、以下のとおり定める。

<ピアノ専攻>

次の2種類の5回の試験で所定の成績を修めると修了試験の受験資格を得る。

・リサイタル試験(60分程度/公開)を3回。うち1回は曲目の半分をトリオ以上の室内楽とする。

・コンチェルト試験(公開)を2回。

※上記試験は、年間4~5回設定される試験日を任意に選択して受験できる。

修了試験: リサイタル試験(60分程度/公開)

<ヴァイオリン専攻・チェロ専攻・フルート専攻>

・年次試験で所定の成績を2回連続して修めると修了試験の受験資格を得る。

修了試験: リサイタル試験(60分程度/公開)

ピアノ専攻

暗譜で演奏する。

以下の6曲を合わせて、60分以上のプログラムを用意する。

試験日前日に演奏箇所を指定する。

(1), (2) 以下の作曲家のエチュードの中から任意の2曲。

1曲はChopinのエチュードを含むこと。

Chopin, Liszt, Debussy, Rachmaninoff, Scriabin, Bartók, Prokofiev, Ligeti

(3) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I・IIから任意の1曲(プレリュードとフーガ)

(4) Beethoven : Sonateの中から任意の1曲(全楽章)

(5) ロマン派の作品の中から任意の1曲

(6) 近代・現代の作品の中から任意の1曲

ヴァイオリン専攻

暗譜で演奏する

(1) 以下のコンチェルトの中から任意の1曲(第1楽章または終楽章)

Bartók : 第2番

Brahms : D-dur

Bruch : 第1番 g-moll

Dvořák : a-moll

Elgar : h-moll

Ernst : fis-moll op. 23(独奏部分から第237小節まで)

Glazunov : a-moll(第1部:アレグロの前まで、または 第2部:アレグロから)

Lalo : スペイン交響曲

Mendelssohn : e-moll

Paganini : 第1番 D-dur

Prokofiev : 第1番 D-dur

Prokofiev : 第2番 g-moll

Saint-Saëns : 第3番 h-moll

Sibelius : d-moll

Tchaikovsky : D-dur

Vieuxtemps : 第5番 a-moll

Wieniawski : 第1番 fis-moll

Wieniawski : 第2番 d-moll

(2) Paganini : カプリスの中から任意の1曲(No. 24以外は繰り返しなし)

(3) Bach : 無伴奏ソナタの中から任意の1曲の第1, 2楽章

チェロ専攻

以下の(1)(2)(3)を暗譜で演奏する。

(1) 以下のコンチェルト等の中から任意の1曲(第1楽章または終楽章)

L. Boccherini	: B-dur
A. Dvořák	: h-moll
E. Elgar	: e-moll
J. Haydn	: 第1番 C-dur
J. Haydn	: 第2番 D-dur
A. Khachaturian	: e-moll
E. Lalo	: d-moll
S. Prokofiev	: 第2番 e-moll op.125 Sinfonia Concertante
C. Saint-Saëns	: 第1番 a-moll op.33
R. Schumann	: a-moll
D. Shostakovich	: 第1番 Es-dur op.107
P. Tchaikovsky	: Rococo-Variations (主題・第7変奏を含めて10分程度にまとめること)
S. Barber	: op.22
D. Kabalewski	: op.49
S. Prokofiev	: op.132 Concertino
W. Walton	

(2) Bach : 無伴奏組曲No. 4, No. 5, No. 6の中から任意のプレリュード1曲

(3) スケール 4オクターブ 一弓8音 C-durとa-moll
6度の重音スケール 3オクターブ 一弓2音 C-dur
8度のオクターブ 3オクターブ 一弓2音 C-dur

フルート専攻

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。(暗譜で演奏するか否かは自由とする)

(1) J. S. Bach : Partita BWV1013よりSarabande

(2) 以下の(a)～(e)から任意の1曲を演奏する

- (a) Ibert : Concerto
- (b) Jolivet : Concerto pour flûte et orchestre a cordes
- (c) Nielsen : Concerto
- (d) Prokofiev : Sonata op.94
- (e) Schubert : Introdution und Variationen "Trockne Blumen" D802

(3) 以下の(a)～(c)から任意の1曲を演奏する

- (a) Berio : Sequenza
- (b) Yun : Etüden (任意の楽章)
- (c) 上記(a)、(b)と同難易度で1950年以降に作曲された無伴奏作品

カレッジ・ディプロマ・コース(CD)募集要項

募集専攻：ピアノ 専攻

弦楽器 専攻 [ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス]

管楽器 専攻 [フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、
トランペット、テノール・トロンボーン、バス・トロンボーン、
ユーフォニウム、チューバ、ホルン]

打楽器 専攻 [マリンバ、パーカッション]

ハープ 専攻

古楽器 専攻 [リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、バロッ
ク・ヴァイオリン、バロック・チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ]

声 楽 専攻

作 曲 専攻

指 揮 専攻

音楽学 専攻

募集人員：各専攻 若干名

受験資格：高等学校卒業以上の者(2023年3月高等学校卒業見込みの者を含む)、および同等以上の学力を有すると本学が認めた者。

選考試験科目：専攻実技のみ(試験課題はP.14～P.27参照)

ただし、次に該当する者で専攻実技の変更がない場合に限り実技試験は免除される。

- 桐朋女子高等学校音楽科、または桐朋学園大学音楽学部を卒業見込みの者。
- 上記を卒業後1年以内の者。
- 桐朋学園大学音楽学部を中途退学(ただし、学則第43条による退学を除く)して1年以内の者。

出願手続：

1)受付期間 2023年2月8日(水)～2月22日(水)【郵送に限る。2月22日必着】

①WEB出願申請期間	2023年2月8日(水)9時～2月22日(水)23時59分
②入学検定料納入期間	2023年2月8日(水)9時～2月22日(水)23時59分
③出願書類郵送期間	2023年2月8日(水)～2月22日(水)郵送必着
④オンライン入試演奏動画送信期間	2023年2月25日(土)0時00分～2月26日(日)23時59分

※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定を行うこと。

※上記期間中に①WEB出願申請「WEB志願票」を入力送信、②入学検定料を納入し、あわせて後掲P.2の③出願書類をレターパックにて郵送する。

インターネットでの①WEBによる出願申請だけでは出願完了とならない。必ず、期間内に

②入学検定料を納入し、出願書類郵送期間内に③出願書類をレターパックにて送付すること。

④オンライン入試出願については、上記期間内に演奏動画のアップロードを完了した時点で出願完了となる。(作曲専攻・音楽学専攻を除く)

2)出願方法

1. WEB出願申請受付の流れ ※出願期限については、P.10を参照。

STEP 1

以下のURLより「WEB出願申請」を行う。(12月1日から公開)

<2023年度 桐朋学園大学音楽学部ディプロマ・コース入試 WEB出願申請準備>

URL : <https://www.secure-cloud.jp/sf/1601484917lxCLvHZD>

→ 受付完了メール受信

※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpの
ドメイン解除設定を行うこと。

※受付完了メールは利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合があるので確認すること。



STEP 2

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の
「出願書類」を確認(12月1日から公開)

→ 必要書類をダウンロード印刷・記入 → レターパックにて郵送

STEP 3

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の
「WEBフォーム」より「WEB志願票」を入力・送信 → 受付完了メール受信

STEP 4

入学検定料納入 下記2.により、出願期間内に振り込み手続きを行う。

→対面入試の出願が完了する。

STEP 5

2月24日までに、事務局入試係より入学試験で使用する<桐朋メールアドレスID
(メールアドレス)・初期パスワード>と受験証を通知する。

「オンライン入試志願者」はP.10の期日までに

演奏動画や課題等(P.21~P.27参照)を提出すること。詳細は出願後に通知する。

→ 演奏動画・課題等の提出によりオンライン入試の出願が完了する。

3)入学検定料納入方法

前掲のSTEP 3 WEB志願票を入力送信後、出願期間内に振り込み手続きを行うこと。

入学検定料 **55,000円**

<振込先>

- ・みずほ銀行調布支店 当座No.9778
- ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座No.49612
- ・三井住友銀行国領支店 当座No.1015159

<振込先口座名義> 学校法人桐朋学園音楽科
[ガク)トウホウガクエンオンガクカ]

<注意事項>

※納入された入学検定料は返還しない。

※振込みの際は、

振込人名義を「受験者名」とし、名前の前に「2023」と加えること。

(例：2023 トウホウ タロウ)

試験日程：

伴奏合わせ	3月1日(水)	伴奏合わせ・試験当日の集合時間については、2月25日(土)までに本人宛にメールで通知する。届かない場合は、事務局入試係へ問い合わせること。
試験	3月2日(木)	試験実施会場(仙川または調布)は受験証返送時に連絡する。
問い合わせ先	事務局入試係 電話：03-3307-4122(仙川)9:00～16:00	

- 注1) <対面入試>における伴奏者は、本学で準備する。伴奏譜を志願票とともに必ず提出する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように屏風綴じにするなどの配慮のうえ提出する。レターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。
- 注2) 出願後に受験を取りやめる場合は、事前に必ず本学へ電話連絡すること。

合格発表：日時・・・2023年3月7日(火) 17時予定

方法・・・合格者の受付番号を学内(仙川キャンパス)掲示発表および本学ホームページに掲載する。また、志願票に記載された宛先に入学手続書類を郵送する。

入学手続：1) 手続期間・・・2023年3月8日(水)～14日(火) [郵送必着]

2) 校納金(2022年度実績)

登録料		200,000円*
受講料	前期	450,000円*
	後期	450,000円
施設設備費	前期	50,000円*
	後期	50,000円
別納受講料	選択副科(声楽以外)	80,000円<希望者のみ。年額>
	選択副科(声楽)	55,000円<希望者のみ。年額>
	室内楽・二重奏ソナタ	45,000円<希望者のみ。年額>
	理論ピアノ	160,000円<希望者のみ。年額>

注1) *印のついた校納金〔700,000円〕を入学手続時に納める。

注2) 経済情勢の変動等に応じて2023年度以降の校納金については改定があり得る。

3) 提出書類等

- ①「入学手続納付金払込用紙」の副票
- ②誓約書 (本学指定用紙)
- ③身元保証書 (本学指定用紙)
- ④学籍台帳 (本学指定用紙)
- ⑤写真 (タテ4cm×ヨコ3cm) 1枚
- ⑥住民票または住民票記載事項証明書1通(マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要) 他

※詳細は入学手続書類の発送時に「合格者心得」で通知する。

在籍年限：通算5年まで。

在籍登録は1年ごととし、履修継続(再登録)希望者は毎年度所定の手続きをしなければならない(P.34参照)。

履修科目等：後掲(P.31～P.33参照)の桐朋学園大学で開講されている科目を受講する。

年次修了：専攻実技の年次試験で所定の成績を修め、指定された履修科目（大学生向けに開講されている「専門科目」）を3科目以上の単位を修得した者に対し、年次修了を認め、成績配布時にその旨を通知する。年次修了の通知を2回取得した者には、コース修了試験の受験資格が与えられる。

コース修了：コース修了試験の受験資格を得た者は、コース修了試験を受験することができる。なお、年次修了の通知を1回取得し、指定された履修科目の単位を修得し、実技成績が優秀な者は、翌年度に年次試験を受験することなくコース修了試験を受験できることもある。この場合は、事務局へ「修了試験特別受験申請書」を提出し、受験可否を確認すること。
コース修了試験に不合格の場合は、在籍年限の範囲内で、次年度に再度登録手続のうえ受験できる。在籍年限内にコース修了試験に合格しない場合は退籍となる。

カレッジ・ディプロマ・コース(CD)入学試験課題 対面入試

2023年度カレッジ・ディプロマ・コース入試は対面式の通常入試とは別にオンラインによる試験を行う。専攻実技試験課題曲を自身で演奏している動画を提出するなどICTを活用して自宅等で受験できる。対面入試志願者は、オンライン入試の併願が可能。併願により追加される検定料はない。

＜オンライン入試＞はP. 21～27ページを参照

ピアノ専攻

暗譜で演奏する。

- (1) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I・II から任意の1曲(プレリュードとフーガ)
- (2) Chopin : Etudes op.10 または op.25 の中から任意の1曲
(ただし、op.10-6、op.25-7は除く)
- (3) 自由曲(10分程度)
※当日、演奏をカットすることもある。

弦楽器専攻

暗譜で演奏する。

a) ヴァイオリン

- (1) Paganini : カプリスの中から任意の1曲(No. 24以外は繰り返しなし)
- (2) 以下のコンチェルトから任意の1曲の、第1楽章または終楽章

Bartók	:	第2番
Brahms	:	D-dur
Bruch	:	第1番 g-moll
Dvořák	:	a-moll
Elgar	:	h-moll
Ernst	:	fis-moll op. 23(独奏部分から第237小節まで)
Glazunov	:	a-moll(第1部 : アレグロの前まで、または 第2部 : アレグロから)
Lalo	:	スペイン交響曲
Mendelssohn	:	e-moll
Paganini	:	第1番 D-dur
Prokofiev	:	第1番 D-dur
Prokofiev	:	第2番 g-moll
Saint-Saëns	:	第3番 h-moll
Sibelius	:	d-moll
Tchaikovsky	:	D-dur
Vieuxtemps	:	第5番 a-moll(アダージョの前まで)
Wieniawski	:	第1番 fis-moll
Wieniawski	:	第2番 d-moll

b) ヴィオラ

- (1) Bach : Cello Suiteの中から任意の楽章(繰り返しなし)
- (2) 以下の5曲の中から任意の1曲

1. Hoffmeister : D-dur 第1楽章(カデンツァ付)
2. Stamitz : D-dur op.1 第1楽章(カデンツァ付)
3. Bartók :
4. Hindemith : Der Schwanendreher (白鳥を焼く男)
5. Walton :

※3.～5. は第1楽章、または最終楽章

c)チェロ

- (1) Bach : 無伴奏組曲 6 曲の中から任意の 1 曲の、プレリュード
 (2) 以下のコンチェルトから任意の 1 曲の、第 1 楽章または終楽章
- | | |
|-----------------|---|
| L. Boccherini | : B-dur |
| A. Dvořák | : h-moll |
| E. Elgar | : e-moll |
| J. Haydn | : 第 1 番 C-dur |
| J. Haydn | : 第 2 番 D-dur |
| A. Khachaturian | : e-moll |
| E. Lalo | : d-moll |
| S. Prokofiev | : 第 2 番 e-moll op.125 Sinfonia Concertante |
| C. Saint-Saëns | : 第 1 番 a-moll |
| R. Schumann | : a-moll |
| D. Shostakovich | : 第 1 番 Es-dur |
| P. Tchaikovsky | : Rococo-Variations (主題・最終変奏曲を含め10分程度にまとめること) |
| S. Barber | : op. 22 |
| D. Kabalewski | : op. 49 |
| S. Prokofiev | : op. 132 Concertino |
| W. Walton | |

d) コントラバス

次の(1)または(2)の中から 1 曲選んで演奏すること。

- (1) 任意のコンチェルトの第 1 楽章または第 3 楽章
 (2) バロックのソナタ(緩徐楽章と急速楽章)

管楽器専攻

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。(※専攻によって課題曲数は異なる。)
 暗譜で演奏するか否かは自由とする。
 伴奏者は本学で準備する。(無伴奏作品を除く)

a)フルート

- (1) Andersen : 24 Studien op.21からNo. 24
 (2) 以下の 3 曲から任意の 1 曲を演奏する。
 イ. Büsser : Prélude et Scherzo
 ロ. Enesco : Cantabile et Presto
 ハ. Fauré : Fantaisie

b)オーボエ

繰り返しは省略する。

- (1) W.Ferling : 48 ETUDES (Pierre Pierlot 版) から No.3, 5, 6, 8, 10, 13, 14の
 中から任意の1曲
 (2) 以下の 4 曲から任意の1曲
 イ. G. F. Händel : Sonate c-moll 第 1、2 楽章
 ロ. G. F. Händel : Sonate g-moll 第 1、2 楽章
 ハ. G. Ph. Telemann : Sonate g-moll 第 1、2 楽章
 ニ. G. Ph. Telemann : Sonate a-moll 第 1、2 楽章

c)クラリネット

- (1) 以下の a) または b) のいずれかを演奏する。
- a) C. Rose : 32 Etudes (Leduc社版) から任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ 1 曲 (合計 2 曲) を選択する。
 - b) E. Cavallini : 30 Caprices から任意の 1 曲
- (2) 以下の 4 曲から任意の 1 曲
- イ. C. M. v. Weber : Concertino op. 26
 - ロ. C. M. v. Weber : Concerto op. 73 f-moll 第 1 楽章
 - ハ. A. Messager : Solo de Concours
 - ニ. F. Krommer : Concerto op. 36 Es-dur 第 1 楽章

d)ファゴット

- (1) Julius Weissenborn : Fifty Bassoon Studies op. 8 Vol. II から、No. 4, 13

e)サクソフォン

- (1) Ferling : 48 Etudes (Leduc社版) から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ 1 曲 (合計 2 曲) 選択する。
- (2) 任意の楽曲を 1 曲 (7、8分程度にまとめる)

f)トランペット

- (1) 自由曲 1 曲。繰り返しは自由とする。

g)テノール・トロンボーン 繰り返しは省略する。

- (1) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 10, 13, 16, 19, 22 から任意の 1 曲
- (2) 以下の 3 曲から任意の 1 曲
- イ. B. Marcello : Sonata F-dur 第 1、4 楽章 (International Music社版)
 - ロ. E. Sachse : Concertino 最初からAdagioの終わりまで (International Music社版)
 - ハ. A. Guilmant : Concert Piece op. 88 (International Music社版)

h)バス・トロンボーン

- (1) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment No. 7, 8, 14, 19, 31 から任意の 1 曲 (Carl Fischer社版)
- (2) 以下の 3 曲から任意の 1 曲
- イ. A. Lebedev : Concerto in One Movement (Musicus社版)
 - ロ. E. Sachse : Concertino 最初からAdagioの終わりまで (International Music社版) ※ F-durで演奏してもよい
 - ハ. E. Bozza : Allegro et Finale (A. Leduc社版)

i)ユーフォニウム 繰り返しは省略する。

- (1) M. Bordogni (arr. J. Rochut) : Melodious Etudes for Trombone No. 8 (版は指定しない)
- (2) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 33 (版は指定しない)

j)チューバ

- (1) C. Kopprasch : 60 Selected Etude for Tuba (Robert King社版) No. 14

k)ホルン

- (1) 以下の曲から任意の 1 曲 (版指定なし)
- イ. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 3から 第 1 楽章 (カデンツァなし)
 - ロ. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 2から 第 1 楽章

打楽器専攻

(本学の楽器を使用)

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち(Snare offで演奏)、
クレッシェンド・ディミニユエンドロール打ち(< >)(Snare onで演奏)
- (2) M. Goldenberg: Modern School for Snare Drum (A. J. Cirone 社版)から
Roll Exercise in 2/4(P. 44)
Etude in 6/8(P. 48, 49)
- (3) マリンバによる課題 —P. 27参照
Es-dur、c-moll スケール。短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

b) マリンバ

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち (Snare offで演奏)
- (2) マリンバによる課題—P. 27参照
スケール E-dur, cis-moll、B♭-dur, g-moll 短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。
- (3) マリンバ自由曲 6分以内(カット演奏も可)

ハープ専攻

暗譜で演奏する。自由曲1曲。

古楽器専攻

以下の(1)、(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

- 注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者は当日a'= 415 のピッチの専攻楽器を使用すること。
バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチはa'= 415とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。
- 注2) 伴奏は本学で用意する。

a) リコーダー

(1) 課題曲

G. F. Händel または G. Ph. Telemann : リコーダーのためのソロソナタから任意の1曲

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

b) フラウト・トラヴェルソ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata h-moll (Hallenser Sonata No. 3, HWV376) 全楽章

繰り返しは任意。 [推薦楽譜] Bärenreiter社版(1995年、T. Best の新版)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

(1) 自由曲(10分程度)

e) バロック・ヴァイオリン

(1) 課題曲

① 以下のa、bのいずれか1曲

a. 17世紀イタリアのソナタから任意の1曲

(Marini, Castello, Fontana, Uccellini などから)

b. 任意のDiminution, Divisionから1曲

(Bassano, Rognoni, Gabrielli あるいは Division Violin から)

② A. Corelli : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5

No. 1~6, No. 12 から 任意の1曲

(No. 1~6を弾く場合は装飾付き。装飾は印刷のものでも自作でもよい)

③ J. S. Bach : ヴァイオリンとオブリガート・チェンバロのためのソナタ No. 1~6

から任意の1曲全楽章(当日審査員が演奏する楽章を指定する)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

f) バロック・チェロ

(1) 課題曲

① A. Vivaldi : Sonata から 任意の1曲(全楽章)

② J. S. Bach : 任意のチェロ組曲から 2つの楽章

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

g) チェンバロ

(1) 課題曲 —— 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第I巻 第18番 gis-moll
前奏曲とフーガ
[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Henle社版
- ② D. Scarlatti : Sonata B-dur K. 16
[指定楽譜] カークパトリック編 60のソナタ
全音楽譜出版社版およびHeugel社版
- ③ J. P. Rameau : Les Tendres Plaintes
[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Heugel社版
- ④ W. Byrd : Callino Casturame
[指定楽譜] Stainer & Bell社版 Musica Britannica 第27巻 35番

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。
5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

※当日は後期フレミッシュ・モデル2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g^{'''}、ピッチ a'=415、
レジスタ 8' 8" 4' L)を使用する。

声楽専攻

暗譜で演奏する

イタリア古典歌曲(注) 2曲以上を含む5曲を提出し、そのうち任意の1曲と、抽選による1曲の合計2曲を演奏する。出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

※出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。「任意の1曲」には伴奏譜提出票に「任意曲」と明記し、受験曲目票の1)欄に曲目を記入すること。

- (注) 以下の楽譜に記載の曲から選ぶこと。移調は自由。
Ricordi(リコルディ社)Arie Antiche vol. 1・2・3
全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」1(新版を含む)・2
教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」1・2

作曲専攻

- (1) 作曲作品提出(複数でもよい) ※出願の際、出願書類とともに提出すること。
- (2) 専攻に関する面接
- (3) 楽器等演奏(声楽を含む) 5分以内の自由曲

指揮専攻

- (1) **実技**(暗譜で演奏するか否かは自由とする。)
Mozart : 「魔笛」序曲
Beethoven : Symphony No. 2 第1楽章
注) 以上2曲とも、本学で用意した2台ピアノの伴奏による。
- (2) **面接**
- (3) **理論ピアノ** (①と②の演奏時間は合わせて15分以内とし、暗譜で演奏する。)
 - ① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集第I・II巻から任意の1曲
(プレリュードとフーガ)
 - ② 自由曲1曲
 - ③ 新曲初見演奏1曲(予見時間5分)
- (4) **和声** : 旋律課題(ピアノ使用不可・3時間)
- (5) **新曲視唱・聴音**

音楽学専攻

- (1) 専攻小論文(1時間30分)
- (2) 専攻外国語(1時間30分) 英語、ドイツ語、フランス語から1カ国語を選択する。
※辞書(電子辞書含む)の持ち込み可。

注)2023年度本学音楽学部を音楽学専攻で受験した者は
「カレッジ・ディプロマ・コース音楽学専攻試験」を書類審査で替える場合もある。
通常の出願手続締め切り後、事務局入試係から本人宛に通知する。

ピアノ専攻

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。

暗譜で演奏する。

- (1) Bach : Das Wohltemperierte Klavier I・IIから任意の1曲(プレリュードとフーガ)
- (2) Chopin : Etudes op.10 または op.25 の中から任意の1曲
(ただし、op.10-6、op.25-7は除く)
- (3) 自由曲 (10分程度)

弦楽器専攻

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。

無伴奏を可とする。伴奏を必要とする場合は各自で手配すること。

暗譜で演奏する。

a) ヴァイオリン

- (1) Paganini : カプリスの中から任意の1曲(No.24以外は繰り返しなし)
- (2) 以下のコンチェルトから任意の1曲の、第1楽章または終楽章

Bartók	:	第2番
Brahms	:	D-dur
Bruch	:	第1番 g-moll
Dvořák	:	a-moll
Elgar	:	h-moll
Ernst	:	fis-moll op.23 (独奏部分から第237小節まで)
Glazunov	:	a-moll (第1部:アレグロの前まで、または 第2部:アレグロから)
Lalo	:	スペイン交響曲
Mendelssohn	:	e-moll
Paganini	:	第1番 D-dur
Prokofiev	:	第1番 D-dur
Prokofiev	:	第2番 g-moll
Saint-Saëns	:	第3番 h-moll
Sibelius	:	d-moll
Tchaikovsky	:	D-dur
Vieuxtemps	:	第5番 a-moll (アダージョの前まで)
Wieniawski	:	第1番 fis-moll
Wieniawski	:	第2番 d-moll

b) ヴィオラ

- (1) Bach : Cello Suiteの中から任意の楽章(繰り返しなし)
- (2) 以下の5曲の中から任意の1曲
 1. Hoffmeister : D-dur 第1楽章(カデンツァ付)
 2. Stamitz : D-dur op.1 第1楽章(カデンツァ付)
 3. Bartók :
 4. Hindemith : Der Schwanendreher (白鳥を焼く男)
 5. Walton :

※3.~5.は第1楽章、または最終楽章

c)チェロ

- (1) Bach : 無伴奏組曲 6 曲の中から任意の 1 曲の、プレリュード
- (2) 以下のコンチェルトから任意の 1 曲の、第 1 楽章または終楽章

L. Boccherini	: B-dur
A. Dvořák	: h-moll
E. Elgar	: e-moll
J. Haydn	: 第 1 番 C-dur
J. Haydn	: 第 2 番 D-dur
A. Khachaturian	: e-moll
E. Lalo	: d-moll
S. Prokofiev	: 第 2 番 e-moll op.125 Sinfonia Concertante
C. Saint-Saëns	: 第 1 番 a-moll
R. Schumann	: a-moll
D. Shostakovich	: 第 1 番 Es-dur
P. Tchaikovsky	: Rococo-Variations (主題・最終変奏曲を含め10分程度にまとめること)
S. Barber	: op. 22
D. Kabalewski	: op. 49
S. Prokofiev	: op. 132 Concertino
W. Walton	

d) コントラバス

次の (1) または (2) の中から 1 曲選んで演奏すること。

- (1) 任意のコンチェルトの第 1 楽章または第 3 楽章
- (2) バロックのソナタ(緩徐楽章と急速楽章)

管楽器専攻

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。 ※ 伴奏不要

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。(専攻によって課題曲数は異なる。)
暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a)フルート

- (1) Andersen : 24 Studien op.21からNo.24
- (2) 以下の 3 曲から任意の 1 曲を演奏する。
 - イ. Büsser : Prélude et Scherzo
 - ロ. Enesco : Cantabile et Presto
 - ハ. Fauré : Fantaisie

b)オーボエ

繰り返しは省略する。

- (1) W.Ferling : 48 Etudes (Pierre Pierlot 版)
No.3、5、6、8、10、13、14の中から任意の 1 曲
- (2) 以下の 4 曲から任意の1曲
 - イ. G. F. Händel : Sonate c-moll 第 1、2 楽章
 - ロ. G. F. Händel : Sonate g-moll 第 1、2 楽章
 - ハ. G. Ph. Telemann : Sonate g-moll 第 1、2 楽章
 - ニ. G. Ph. Telemann : Sonate a-moll 第 1、2 楽章

c)クラリネット

- (1) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) C. Rose : 32 Etudes (Leduc社版)から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲(合計2曲)選択する。
 - (b) E. Cavallini : 30 Capricesから任意の1曲
- (2) 以下の4曲から任意の1曲
 - イ. C. M. v. Weber : Concertino op. 26
 - ロ. C. M. v. Weber : Concerto op. 73 f-moll 第1楽章
 - ハ. A. Messager : Solo de Concours
 - ニ. F. Krommer : Concerto op. 36 Es-dur 第1楽章

d)ファゴット

- (1) Julius Weissenborn : Fifty Bassoon Studies op. 8 Vol. II から、No. 4, 13

e)サクソフォン

- (1) Ferling : 48 Etudes (Leduc社版)から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲(合計2曲)選択する。
- (2) 任意の楽曲を1曲(7、8分程度にまとめる)

f)トランペット

- (1) 自由曲1曲(繰り返しは自由とする)

g)テノール・トロンボーン

- (1) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 10, 13, 16, 19, 22 から任意の1曲
- (2) 以下の3曲から任意の1曲
 - イ. B. Marcello : Sonata F-dur 第1、4楽章 (International Music 社版)
 - ロ. E. Sachse : Concertino 最初からAdagioの終わりまで
(International Music 社版)
 - ハ. A. Guilmant : Concert Piece op. 88 (International Music 社版)

h)バス・トロンボーン

- (1) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment
No. 7, 8, 14, 19, 31 から任意の1曲 (Carl Fischer社版)
- (2) 以下の3曲から任意の1曲
 - イ. A. Lebedev : Concerto in One Movement (Musicus社版)
 - ロ. E. Sachse : Concertino 最初からAdagioの終わりまで
※ F-durで演奏してもよい (International Music社版)
 - ハ. E. Bozza : Allegro et Finale (A. Leduc社版)

i)ユーフォニウム

繰り返しは省略する。

- (1) M. Bordogni (arr. J. Rochut) : Melodious Etudes for Trombone No. 8 (版は指定しない)
- (2) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 33 (版は指定しない)

j)テューバ

- (1) C. Kopprasch : 60 Selected Etude for Tuba (Robert King社版) No. 14

k)ホルン

- (1) 以下の2曲から任意の1曲(版指定なし)
 - イ. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 3 から 第1楽章(カデンツァなし)
 - ロ. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 2 から 第1楽章

打楽器専攻

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。

以下の(1)(2)(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち(Snare offで演奏)、
クレッシェンド・ディミニユエンドロール打ち(< >)(Snare onで演奏)
- (2) M. Goldenberg: Modern School for Snare Drum (A. J. Cirone 社版)から
Roll Exercise in 2/4(P. 44)
Etude in 6/8(P. 48, 49)
- (3) マリンバによる課題 —P. 27参照
Es-dur、c-moll スケール。短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

b) マリンバ

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち(Snare offで演奏)
- (2) マリンバによる課題—P. 27参照
スケール E-dur, cis-moll、B-dur, g-moll 短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。
- (3) マリンバ自由曲 6分以内(カット演奏も可)

ハープ専攻

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。

暗譜で演奏する。自由曲1曲。

古楽器専攻

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。

伴奏なしで録画を行うこと。

暗譜で演奏するか否かは自由とする。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの志願者はa'= 415 のピッチの専攻楽器を使用すること。
バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチはa'= 415とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。

a) リコーダー

課題曲

- Jacob Van Eyck: Der Fluyten Lust-Hofから Pavane Lacryme
; XYZ社版のNo. 59、全ヴァリエーションを演奏すること。
楽器はアルトリコーダーでも可。
但し、その場合は4度あげて(g-mollで)演奏すること。

b) フラウト・トラヴェルソ

課題曲

G.F.Händel : Sonata h-moll (Hallenser Sonata No.3, HWV376) 全楽章
繰り返しは任意。 [推薦楽譜] Bärenreiter社版(1995年、T.Best の新版)

c) バロック・オーボエ

課題曲

G.F.Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

自由曲(10分程度)

e) バロック・ヴァイオリン

課題曲

- ① 以下のa、bのいずれか1曲
 - a. 17世紀イタリアのソナタから任意の1曲
(Marini, Castello, Fontana, Uccellini等から)
 - b. 任意のDiminution, Divisionから1曲
(Bassano, Rognoni, GabrielliあるいはDivision Violinから)
- ② A. Corelli : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5
No.1~6, No.12 から 任意の1曲
(No.1~6を弾く場合は装飾付き。装飾は印刷のものでも自作でもよい)
- ③ J. S. Bach : ヴァイオリンとオブリガート・チェンバロのためのソナタ No.1~6
から任意の1曲全楽章

f) バロック・チェロ

課題曲

- ① イタリアンチェロのソナタ(VivaldiかGeminianiかLanzetti等)から
任意の1曲(全楽章)
- ② J. S. Bach : 任意のチェロ組曲から 2つの楽章

g) チェンバロ

課題曲 次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

- ① J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第I巻 第18番 gis-moll
前奏曲とフーガ
[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Henle社版
- ② D. Scarlatti : Sonata B-dur K.16
[指定楽譜] カークパトリック編 60のソナタ
全音楽譜出版社版 および Heugel社版
- ③ J. P. Rameau : Les Tendres Plaintes
[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Heugel社版
- ④ W. Byrd : Callino Casturame
[指定楽譜] Stainer & Bell社版 Musica Britannica 第27巻 35番

※チェンバロを用意出来ない場合は、ピアノ(電子楽器は除く)での録画を認める。

声楽専攻

予め、専攻実技試験課題を録画し、提出する。伴奏者は各自で手配すること。

暗譜で演奏する

イタリア古典歌曲(注)2曲以上を含む5曲を提出すること。そのうち任意の1曲と、本学教員により抽選した1曲の合計2曲を選考対象とする。出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

※出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。「任意の1曲」には伴奏譜提出票に「任意曲」と明記し、受験曲目票の1)欄に曲目を記入すること。

(注)以下の楽譜に記載の曲から選ぶこと。移調は自由。

Ricordi(リコルディ社)Arie Antiche vol.1・2・3

全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」1(新版を含む)・2

教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」1・2

作曲専攻

- (1) 作曲作品提出(複数でもよい)・・・出願の際、出願書類とともに提出すること。
- (2) 専攻に関する面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。
- (3) 楽器等演奏(声楽を含む) 5分以内の自由曲

指揮専攻

オンライン入試は、実施しない。

音楽学専攻

- (1) 専攻小論文
2月24日までに課題を送付し、2月25日を提出期限とする。
提出はメール添付により行う。
- (2) 専攻外国語
英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択する。
2月24日までに課題を送付し、2月25日を提出期限とする。
提出はメール添付により行う。
- (3) 面接 Zoomを使い本学キャンパス以外で受験。

注)2023年度本学音楽学部入学試験を、音楽学専攻で受験した者は「カレッジ・ディプロマ・コース音楽学専攻試験」を書類審査で替える場合もある。通常の出願手続締め切り後、事務局入試係から本人宛に通知する。

打楽器専攻実技試験課題

a) パーカッション - (3) マリンバによる課題

3オクターブのスケールとアルペジオ。短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

b) マリンバ - (2) マリンバによる課題

3オクターブのスケールとアルペジオ。短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

Musical score for mallet percussion exercise b). The score is in common time (C) and consists of two systems. The first system starts with a tempo marking of ♩=126. The right hand (R) and left hand (L) play a 3-octave scale with alternating notes. The second system continues the scale and includes a triplet of eighth notes in the right hand, marked with 'R R'. The piece concludes with a final chord in the right hand.

和声的短音階

Musical score for the harmonic minor scale. It shows the right hand (treble clef) and left hand (bass clef) playing the scale in a harmonic minor mode. The right hand has a sharp on the seventh degree. The piece ends with a fermata.

旋律的短音階

Musical score for the melodic minor scale. It shows the right hand (treble clef) and left hand (bass clef) playing the scale in a melodic minor mode. The right hand has sharps on the sixth and seventh degrees. The piece ends with a fermata.

カレッジ・ディプロマ・コース(CD)オンライン入試 受験上の注意

【演奏動画を提出する場合】

事前準備

- オンライン入試は、本学より付与されるメールアドレスを使用して実施する。
<付与されるメールアドレスについて>
志願者一人一人に個別のアドレスを付与する。動画のアップロードも上記メールアドレスを使用して行う。詳しくは出願後に通知する『受験心得』および操作マニュアルを参照すること。

動画の提出について

1. 方法：詳細は出願締切後に通知する。
2. 期限：2023年2月25日(土) 0時00分 ~ 2月26日(日) 23時59分

演奏動画の作成(撮影)方法

1. 動画撮影にあたり、使用する撮影機材等の指定はない。スマートフォンや一般的なビデオカメラ等で撮影した動画で問題ない。
2. 動画のファイル形式(拡張子)は、以下のいずれかで提出すること。
ファイル形式(拡張子)：avi , mov , mp4 , wmv , flv
※上記以外の拡張子に関しては、事前に下記連絡先(事務局入試係)まで相談すること。
【例】iPhoneで撮影した場合：「.mov」のファイル形式
Androidで撮影した場合：「.mp4」のファイル形式
※一部の機種では、上記のファイル形式で保存されない場合があるため、提出する前に必ず確認をすること。
連絡先：事務局入試係
メールアドレス：exam@tohomusic.ac.jp 電話：03-3307-4122(直通)

課題を録画する際の注意点

1. カメラの角度が固定されていて未編集のものとする。座って演奏する場合は、顔と手が明確に映っているもの、立って演奏する楽器ならびに声楽の演奏は、腰から上が映っているものとする。
2. 複数の曲がある場合は、カメラを止めずに続けて演奏収録すること。
ただし、ピアノ専攻の課題1)・2)は連続して演奏し、課題3)は課題1)・2)とは別に録画しても良い。課題1)・2)、課題3)の順に分けてアップロードする。また、声楽専攻については、任意曲1曲、課題曲2曲、課題曲2曲と3つに区分して録画し、その順にアップロードする。管楽器専攻については自由とするが、受験曲目票に記入した順にアップロードする。
3. ファイル名には必ず「受付番号_専攻_氏名_課題番号等」を記入すること。
4. この入試のために録画を行ったものであること。
5. 再編集・加工をしたものは審査対象としない。

【面接を受験する場合】(作曲専攻・音楽学専攻)

事前準備

- オンライン入試面接は、本学より付与されるメールアドレスおよびZoomを使用して実施する。
<Zoomとは>
Zoom Video Communications, Inc. が提供する無料のビデオ会議ツール。
※パソコンを使用する場合、必ずWEBカメラ・マイク・スピーカー(ヘッドフォン・ヘッドセットでも可)が内蔵または付属されている機種を使用すること。
※パソコン・スマートフォン・タブレットのOSやブラウザは最新のバージョンを利用すること。Zoomの最新バージョンをアップロードしておくこと。
※スマートフォンまたはタブレットを利用する場合は、事前にアプリのインストールすること。

オンライン入試志願者(面接課題受験)の接続テストについて

- 上記の志願者を対象として事前に接続テストを実施する。詳細は出願後に通知する。
※動画提出のみの志願者は、接続テストへの参加は不要。

出願書類等

- ※ 以下の内容は、新規受験者のためのものである。
 ※ 継続手続者の出願書類等については、P. 34を参照のこと。

■ 提出書類等：

※レターパックにて郵送のこと。

※カレッジ・ディプロマ・コース志願者で実技試験を免除される者は(a) (b) (d)のみの提出でよい。

(a) ディプロマ・コース 志願票・受験曲目票	志願票と受験証の所定の枠に合わせて写真を貼付する。
(b) 受験証	
(c) 卒業(または卒業見込)証明書	最終学歴のもの。桐朋学園大学・桐朋女子高等学校音楽科の卒業生および卒業見込みの者は不要。
(d) 受験証返送用封筒	長3サイズ(120mm×235mm)封筒を準備し、志願者本人が受け取る住所・宛名を明記する。封筒右下に専攻を記入し、354円分の切手を貼付する。
(e) 伴奏譜(コピー可) ※「伴奏譜提出票」貼付する	対面入試で伴奏を必要とする場合のみ提出。コピー譜の場合は伴奏者が伴奏しやすいようにテープで屏風綴じにして提出する。 「伴奏譜提出票」の記入について 1. 「※受付番号」欄は、何も記入しない。 2. 「区分」欄は、SD または CD と記入する。 3. 「専攻楽器」欄は「楽器略語・コード表」(P. 2参照)の楽器略語のみを記入する。
(f) 作曲作品	カレッジ・ディプロマ・コース作曲専攻志願者は、試験課題 1) 作曲作品(複数でもよい)を提出する。
(g) (オンライン入試) 音楽学専攻小論文・専攻外国語	課題を予め送付し、2月25日を提出期限とする。メール添付により送信。
(h) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書	ソリスト・ディプロマ・コース志願者で希望する者は提出する(P. 36参照)。
(i) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願	希望する者は提出する。(P. 36参照)
(j) (オンライン入試) 同意書	カレッジ・ディプロマ・コース<オンライン入試>志願者のみ提出。志願者本人が各項目を確認し署名捺印する。未提出の場合は受験できない。
(k) 振込証憑書類	ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類

注1) (c) (e)～(j) は該当者のみ提出。

注2) 出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

- 郵送あて先・問い合わせ先： 〒182-8510 東京都調布市若葉町1-4-1-1
 桐朋学園大学音楽学部 事務局入試係
 電話 03(3307)4122

出願書類記入上の諸注意

「志願票・受験曲目票」記入上の注意

1. で囲まれた項目を自筆で正確に記入する。
2. 志望コース …… 該当する番号に○をつける。
3. 楽器略語・コード、対面・オンライン …… (P. 2)「楽器略語・コード表」に従って記入する。対面・オンラインの欄に○をつける。
4. 氏名 …… 戸籍名を楷書で記入する。姓と名にわけ、フリガナをふる。
5. 性別 …… 該当に○をつける。
6. 生年月日 …… 西暦で年月日を記入する。年月日の表記が1桁の場合は十の位に「0」を記入する。
7. 設置者・出身学校名等 …… 該当する番号に○をつけ、正式な学校名等を記入する。
8. 卒業・卒業見込年 …… 卒業年または卒業見込年を西暦で記入する。
9. 保証人氏名 …… 正確に記入する。〔入学を許可された場合には保証人(独立の生計を営む満25歳以上の人)を立てる必要がある。〕
10. 手続書類あて先住所等 …… 原則として保証人の住所等を記入する。手続書類等を本人宅へ送付希望の場合は、〔本人宅〕に○をつけ、その住所等を記入すること。
11. 受験期間中の居所 …… 緊急時の連絡をとれるように「〇〇ホテル」、「〇〇方」等を明記する。「手続書類あて先住所」と同じ場合は、記入しない。
12. 選考試験免除資格の有無 …… カレッジ・ディプロマ・コースで出願する場合のみ記入する。該当する番号に○をつける(P. 10参照)。
13. 修了以外に単位取得の目的 …… 履修形態に関するアンケート項目。単位取得の目的が、コース修了以外にない場合「1」なしの数字に、コース修了とは別に、留学先での単位活用等の目的がある場合「2」ありの数字に○をつける。
14. 本学研究生等との併願 …… カレッジ・ディプロマ・コース音楽学専攻で出願する場合のみ記入する。本学研究生または音楽学部と併願している場合「2」ありの数字に○をつける。
15. 入学後の実技担当希望教員名 …… 入学後の専攻実技担当教員は本学において決定するが、特に希望がある場合は、担当希望教員名を記入する。ただし、希望通りにならない場合がある。
16. 音楽歴、現在の身分・職業等 …… 音楽歴は今まで特に学習した音楽の内容等、現在の身分・職業等は現況通りに記入する。
17. 伴奏 …… 伴奏がつく楽曲の場合「1」の番号に、伴奏がつかない楽曲の場合「2」の番号に○をつける。
18. 受験曲目票
 - ーソリスト・ディプロマ・コースー
演奏曲の作曲者名、曲名、調性、楽章等を該当する課題番号の欄に記入する。
 - ーカレッジ・ディプロマ・コースー
演奏曲の作曲者名、曲名、調性、楽章等を該当する課題番号の欄に記入する。記入の際には、以下の点を注意すること。
 - ・マリンバ専攻は、課題(3)自由曲のみを1)欄に記入する。

- ・ハーブ専攻は、1)欄に記入する。
- ・フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、チェンバロ専攻については記入する必要はない。
- ・リコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ専攻については、1)欄に記入する。
- ・バロック・ヴァイオリン専攻の、①は課題1)欄に、②は課題2)欄に、③は課題3)欄に記入する。
- ・声楽専攻は、5曲を課題1)～5)に記入する。そのうち任意の1曲(抽選に委ねない曲)を課題1)欄に記入する。
- ・作曲専攻については、記入する必要はない。
- ・指揮専攻の3)は、①を課題1)欄に、②を課題2)の欄に記入する。
- ・音楽学専攻は、2)専攻外国語の受験する外国語を課題1)欄に記入する。

カレッジ・ディプロマ・コース履修科目等

(1) 必修科目(専攻実技)

各学生の特性や能力に応じて、担当教員と相談しながら個別にカリキュラムを構成する。

[ピアノ]

	年次試験・修了試験
1年次	12月に1回〔年次試験〕。その年度に研究したものの中から20分程度のプログラムを用意する。
2年次	12月に1回〔年次試験〕。その年度に研究したものの中から20分程度のプログラムを用意する。
3年次	3月に1回〔修了試験〕。内容については別途指示する。(大学卒業試験に準じる)

[ヴァイオリン・ヴィオラ]

	年次試験・修了試験
1年次	1月に1回〔年次試験〕。ピアノとの任意のソナタの第1楽章またはそれに準じる内容の他楽章。
2年次	1月に1回〔年次試験〕。コンチェルトまたはそれに準じる作品。
3年次	1月に1回〔修了試験〕。コンチェルトまたはそれに準じる作品。

[チェロ]

	年次試験・修了試験
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕としてホールで実施。

[コントラバス]

	年次試験・修了試験
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕としてホールで実施。

[管楽器]

	年次試験・修了試験
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。試験課題は大学生に準じる内容。掲示で発表される。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕としてホールで実施。自由曲。

〔打楽器〕

	年次試験・修了試験
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。自由曲。

〔ハーブ〕

	年次試験・修了試験
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。

〔古楽器〕

	年次試験・修了試験
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。課題については個別に指示する。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。

〔声 楽〕

	年次試験・修了試験
1年次	1月に1回〔年次試験〕。自由曲1曲。
2年次	1月に1回〔年次試験〕。自由曲1曲。
3年次	1月に1回〔修了試験〕。課題は別途指示する。

〔作 曲〕

	年次試験・修了試験
1年次	1年に1曲以上、作品提出。(2月上旬)
2年次	1年に1曲以上、作品提出。(2月上旬)
3年次	修了作品提出。(2月上旬)

〔指 揮〕

	年次試験・修了試験
1年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
2年次	7月と1月の年2回〔年次試験〕。自由曲。
3年次	7月と1月の年2回、1月は〔修了試験〕として実施。課題は別途指示する。

〔音楽学〕

	以下の科目を必修とする。
1年次	音楽学・古楽総合演習Ⅰ， 音楽学概論， 和声法Ⅰ
2年次	音楽学・古楽総合演習Ⅱ， 音楽理論(分析)20.21， 和声法Ⅱ
3年次	音楽文献学， 音楽理論(分析)22.23， 音楽理論(応用和声Ⅰ)

(2) 専攻以外の科目

大学生向けに開講されている「専門科目」を履修する。

授業内容については、以下の本学ホームページで参照することができる。

<https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/curriculum.html>

音楽学専攻は、前述「専攻科目」以外の科目を年間1科目履修すればよい。

和声法 I, II	ソルフェージュ	ドイツ歌曲演習
音楽理論(応用和声 I, II)	キーボード・ソルフェージュ	オーケストラ
音楽理論(分析)	スコア・リーディング	副科ピアノ *
芸術音楽	ピアノ演奏法	副科弦楽器 *
作曲法演習 A, B, C	ピアノ実技指導法	副科管楽器 *
音楽史 I, II	ピアノ伴奏法 I ~ III	副科打楽器 *
音楽史概説	伴奏クラス I, II	副科ハープ *
管弦楽史 I, II	弦合奏 I, II	副科古楽器 *
鍵盤音楽史 I ~ IV	管リード講座	副科声楽 *
室内楽史 I, II	管アンサンブル	副科作曲 *
オペラ・オラトリオ史 I, II	ウィンド・オーケストラ	副科指揮 *
20世紀アンサンブル史	打アンサンブル	理論ピアノ *
音楽史各論 I ~ XVIII	ハープ・アンサンブル	演奏解釈
日本の伝統音楽	ハープ・オーケストラ・スタディ	公開演奏
民族音楽	古楽実習 I, II	伴奏
日本音楽概論	古楽アンサンブル	室内楽 *
民族音楽学概論	通奏低音 I, II	二重奏ソナタ *
和楽器実習	民族音楽実習	室内楽講座A(ピアノ)
日本歌唱	女声合唱	指揮法
楽書講読(独・仏)	男声合唱	音の物理学
コンピュータ音楽実習 I ~ III	ディクシオン(日・独・仏・伊・露)	音の生理学
音楽理論概論 I, II	声楽アンサンブル	音楽療法の理論と技法
音楽学・古楽総合演習 I, II	オペラクラス	音楽特別活動
音楽文献学	オペレッタ・ミュージカル演習	

注1) ソルフェージュ、和声法はクラス分けのための試験を行う。

注2) 音楽理論(和声の高度な知識を必要とする)の中には、履修制限を設ける科目がある。

注3) 科目により、受講にあたって試験を課すことがある。

注4) 履修登録者数により受講制限を設けることがある。

注5) 合奏(アンサンブル)・オーケストラの受講については開講時に担当教員に確認すること。

注6) *印の科目〔副科実技、理論ピアノ、室内楽・二重奏ソナタ〕は、別途受講料納入が必要となる。

(3) その他

- ・大学の各種オーディションを受験することができる。
- ・「教職課程科目」を履修する場合は、本学「科目等履修生」に同時に在籍登録をしなければならない。「科目等履修生」出願等については別に配付する「科目等履修生募集要項」(12月配付開始予定)を参照すること。また、教員免許状を取得するためには、基礎資格として「学士」の学位が必要であり、ディプロマ・コース修了のみでは教員免許状は取得できない。(詳細は事務局に問い合わせること)

在籍者の履修継続(再登録)手続について

各コースとも2年目以降の在籍を希望する者は、在籍年限内に毎年度、履修継続(再登録)の手続を必要とする。**この手続を行わない者はその年度末で退籍となる。**

なお、履修継続(再登録)出願を行っても、本学が履修困難と判断した場合は、在籍を認めない場合がある。

コース	在籍年限
ソリスト・ディプロマ・コース	通算7年まで
カレッジ・ディプロマ・コース	通算5年まで

履修継続(再登録)出願・手続方法

1. 履修継続(再登録)出願要領

出願資格 出願時点において、ディプロマ・コースに在籍し、在籍年限に達していない者

出願期間 2023年2月8日(水)～2月22日(水)

【レターパックでの郵送に限る。2月22日必着】

出願料 5,000円

STEP 1

桐朋学園大学事務局から以下の書類を在籍者の自宅へ郵送する。
手続き書類「**志願票(再登録用)・受験証・出願用封筒**」

STEP 2

出願料納入 出願期間内に振り込み手続を行う。

<振込先>

- ・みずほ銀行調布支店 当座No. 9778
- ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座No. 49612
- ・三井住友銀行国領支店 当座No. 1015159

<振込先口座名義> 学校法人桐朋学園音楽科
[ガク)トウホウガクエンオンガクカ]

<注意事項>

※納入された入学検定料は返還しない。

※振込みの際は、

振込人名義を「受験者名」とし、名前の前に「2023」と加えること。

(例：2023 トウホウ タロウ)

STEP 3

上掲STEP 1の「**志願票(再登録用)と受験証**」を記入

→ 同封の「**出願用封筒**」に封入

→ 上記封筒を「**簡易書留**」にて郵送 → 事務局受付(出願完了)

- 提出書類等**
- 1) 志願票（再登録用）
 - 2) 受験証
 - 3) 振込証憑書類（A T Mのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類）

※ 志願票の記入方法は、P. 30を参照のこと。

※ 出願手続が完了した者には「履修継続手続書類」を送付する。

2. 履修継続(再登録)手続要領

締 切 日 2023年3月14日(火) [郵送必着]

提出書類等 銀行等金融機関の収納印のある「納付金払込用紙」の副票
写真(タテ4cm×ヨコ3cm) 1枚 他
※詳細は「履修継続手続書類」送付時に通知する。

校 納 金 (2022年度実績)

受 講 料	前 期	450,000円*
	後 期	450,000円
施設設備費	前 期	50,000円*
	後 期	50,000円
別納受講料	選択副科(声楽以外)	80,000円〈希望者のみ。年額〉
	選択副科(声 楽)	55,000円〈希望者のみ。年額〉
	室内楽・二重奏ソナタ	45,000円〈希望者のみ。年額〉
	理論ピアノ	160,000円〈希望者のみ。年額〉

注1) *印のついた校納金〔500,000円〕を継続手続時に納める。

注2) 経済情勢の変動等に応じて2023年度以降の校納金については改定があり得る。

特待生制度・奨学金制度および学生会館

特待生制度

ソリスト・ディプロマ・コース生で、入学試験または所定の学内試験における専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた者は、「特待生」として登録料・受講料などを全額または一部を免除する。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難なソリスト・ディプロマ・コース生を対象に、各種の奨学金制度がある。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(9月末)給付する。

原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠、実状を考慮し決定する。

申請方法：入学前と入学後の申請がある。

①入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ、入学試験志願票とともに提出する。

給付の可否についての審査結果は、2023年2月23日以降に郵送する。

採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

②入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は、4月末に掲示する。入学前に申請した者も、再度申請することができる。

注)再登録者は在学申請のみとなり、申込みは②と同時期に行う。

◎桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生に対し年度末に給付される。

2. その他

◎国の教育ローン(日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

学生会館

自宅通学が困難な女子学生・生徒のために、調布キャンパスより徒歩約5分の場所に学生会館を用意している。

タイプ：防音ワンルーム型マンション

住戸面積：約21㎡(1住戸当り)

仕様：ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備

住戸数：115戸

入居費：月額78,000円

その他：入居時に諸経費として50,000円が必要。光熱水費は自己負担。

2023年度の募集について

(1)募集人数は約20名。希望者多数の場合は抽選(高校生、大学生を含む)。

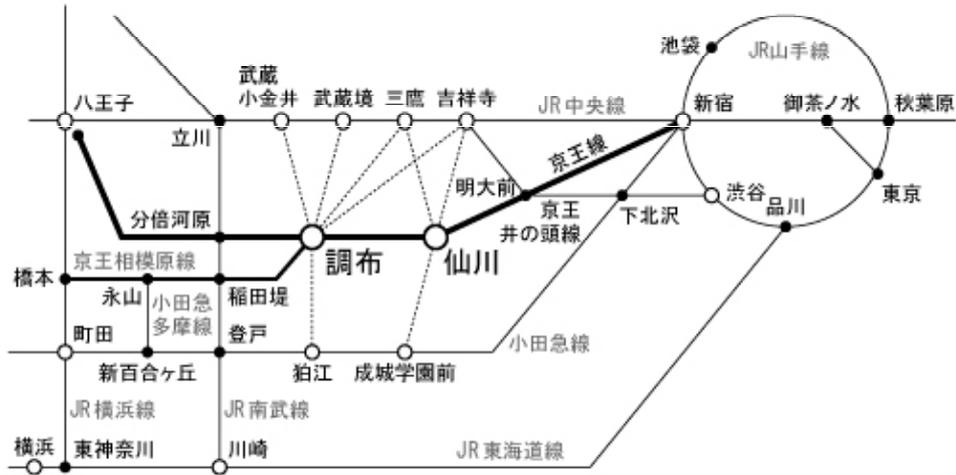
(2)入居希望者は入試要項に添付されている所定用紙を入学試験志願票と共に提出すること。

(3)入居の可否通知は「入学試験」合格発表日の翌日(予定)に、合格者宛に発送する。

交通機関案内図

■ 交通案内

< 調布駅－新宿駅より特急で約16分、仙川駅－新宿駅より快速で約18分 >



京王線以外からのルート

< 調布キャンパス >

- **小田急線「狛江」駅発** (バスの所要時間約20分)
小田急バス「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車 徒歩10～12分
- **JR中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発**
(バスの所要時間約30～40分)
小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
「調布駅北口」バス停下車 徒歩10分

< 仙川キャンパス >

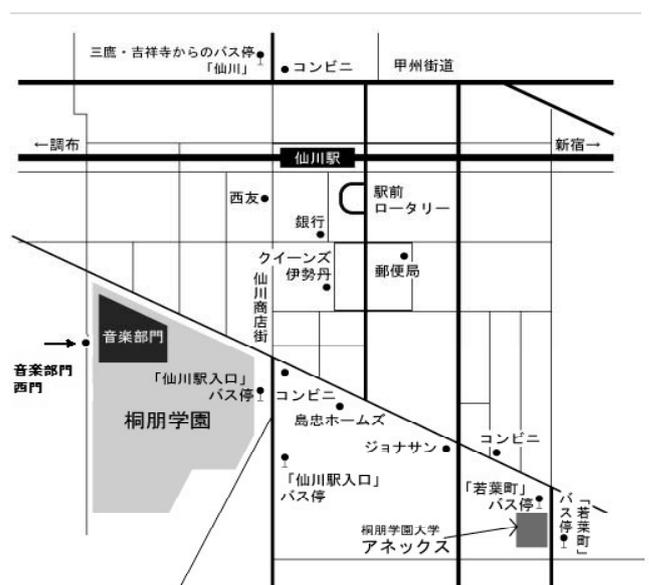
- **小田急線「成城学園前」駅発** (バスの所要時間約15分)
小田急バス 「狛江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分
- **JR中央線「吉祥寺」駅発** (バスの所要時間約25分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分
- **JR中央線「三鷹」駅発** (バスの所要時間約30分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分

◆ 調布キャンパスの駅からのアクセス



- 京王線「調布」駅より 徒歩10分

◆ 仙川キャンパスの駅からのアクセス



- 京王線「仙川」駅より 徒歩5分

<仙川キャンパス>

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-4-1 ☎ 03(3307)4101(代)

<調布キャンパス>

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-1-0 ☎ 042(444)7055(代)